

大和市は平成25年

「ここが」変わりました

大和市が平成25年に実施した施策などの中から、主な事業や出来事を紹介します。

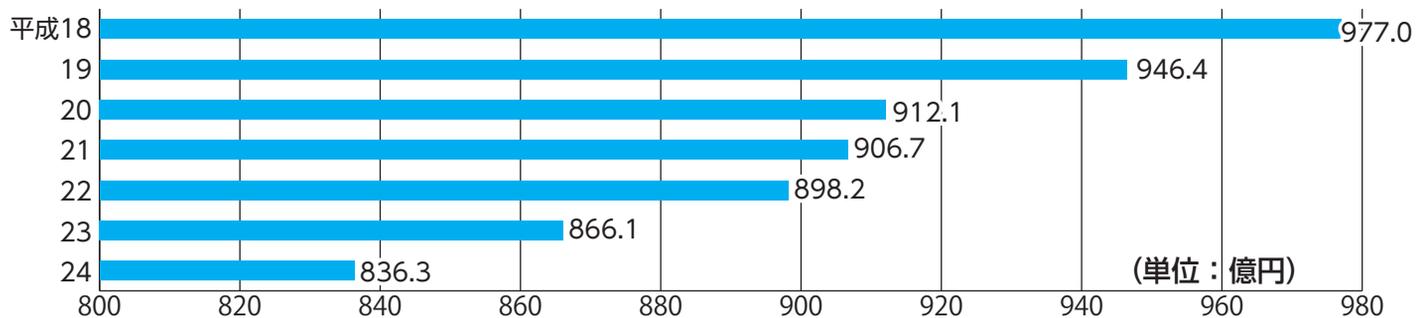
<p>1月</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地震・火災時の強力な味方「スタンドパイプ消火資機材」を市内すべての自主防災組織に導入へ 「大和市 小学生のための防災手帳」を作成 大和市医師会、大和歯科医師会、大和綾瀬薬剤師会と「災害時における医療救護活動に関する協定」を締結 大和駅西側プロムナードに「大和なでしこ広場」が誕生 	<p>7月</p> <ul style="list-style-type: none"> 65歳以上の人が特別養護老人ホームでのお手伝いなどの活動をした場合、換金可能なポイントを付与する「介護予防ポイント事業」をスタート 市立病院敷地内に、大和市病児保育室「ぽかぽか」オープン 
<p>2月</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文化複合施設の建設予算が市議会で可決 中央林間駅、南林間駅、つきみ野駅などに「市政情報PRボード」を追加設置 大和郵便局と「道路損傷等による危険箇所の情報提供の協力に関する協定書」を締結 	<p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> 大和市消防が全国消防救助技術大会「引揚救助の部」で全国1位に ヤマトンとハートンのお誕生日会を初開催 大和市立病院の経営が大幅改善。24年度は前年の2倍以上となる約5億3,700万円の黒字に 
<p>3月</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大和市立病院の医療チームが神奈川県DMATに認定 中央林間駅・大和駅周辺に街頭防犯カメラを追加設置 市役所に初の正門「さくら門」が誕生 	<p>9月</p> <ul style="list-style-type: none"> 「やまと自殺対策フォーラム」を開催 「救急フェア」を開催 「さがみの国大和フィルムコミッション展」を開催 <p>10月</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央林間西側地域と相模大塚地域で、コミュニティバスの実験運行を開始 高齢者の相談窓口「地域包括支援センター」を2か所増設 土日の窓口業務が充実。土曜日に転入、転居、転出など住民登録に関する届け出が可能に 誰でも気軽に立ち寄れる居場所として「ぶらっと中央林間」を開設 相模大塚駅と市役所に図書返却ポストを新たに設置。中央林間駅、大和駅と合わせて市内4か所に 県内で初めてスタンドパイプを利用して飲料水を確保できる応急給水用資機材を導入へ  
<p>4月</p>	<ul style="list-style-type: none"> 乳がん施設検診の検診項目に乳がん超音波(エコー)検診を追加 放課後子ども教室の実施日を週2日から週3日に拡大 各学校の司書を統括する「学校図書館スーパーバイザー」を県内で初めて配置 	<p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月23日を「やまと家読の日」と定める 市役所内に「振り込め詐欺相談窓口」を新設 資源持ち去りの追跡調査にGPSの活用を開始 三機工業(株)と「災害時における帰宅困難者一時滞在施設の提供に関する協定」を締結 高知市と「災害時等相互応援に関する協定」を締結 
<p>5月</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本郵便(株)と市内郵便局へのAED(自動体外式除細動器)の設置に関する協定を締結 JFAこころのプロジェクト「夢の教室」の協定を締結 平塚信用金庫と、高齢者、障がい者などの生活を見守る協定を締結 ノーベル化学賞受賞者・根岸英一氏など大和市ゆかりの6人の手形モニュメント除幕式を開催 	<p>12月</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立小・中学校の特別支援学級の教材にタブレット型パソコンを導入 <p>※12月の市議会定例会で可決された主な施策については、今後広報やまとなどでお知らせします。</p> 
<p>6月</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文化複合施設の建設計画の推進について市議会で補正予算が可決 大和市シルバー人材センターの愛称が「はつらつYamato」に 	

大和市の借金と貯金

本市の市税収入は、2年連続で前の年度を上回りましたが、ピークだった平成19年度に比べ20億円以上少なくなっています。このような状況ですが、市では積極的に財政運営を見直すことで、借金を減らし、貯金を増やしています。

借金(市債)の額は平成18年度と比べ約140億円減少

借金(市債残高)の推移



※金額は、各年度末の残高(決算額)です。
 ※残高は、全会計(一般会計、特別会計、企業会計)を合わせたものです。

借金が減少した結果

- ☑ 一般会計では **市民1人当たりの借金が 県内19市で最小**
- ☑ **借金による利息(償還利子)が 年間10億円以上減少※**

こうして生み出した財源は、市民サービスの向上に役立てています。 ※平成18年度と24年度の比較(全会計)

貯金(財政調整基金)の額は平成18年度と比べ20億円以上の増加

貯金(財政調整基金残高)の推移



※金額は、各年度末の残高(決算額)です。

この結果

- ☑ **市民1人当たりの貯金は 県内で2番目に多い額に**

(平成24年度・県内19市中)

問 市役所財政課財政担当 ☎(260)5323。

